

お勧めの本 (2023年10月)

気になるフレーズ例



「ウォーターフォールとアジャイルのメリット・デメリットは何ですか？」と尋ねた日本のお客さんに、MSの専門家サム・グッケンハイマーは「ウォーターフォールは一切メリットがないのでやめておきなさい」

「プログラミング」を低レベルの人がやることと見なし、外注し始めたことが、日本の大手SIer 衰退の分岐点となってしまった。

「Be Lazy」 (怠惰であれ)
一番重要なことにフォーカスし他はやらない
成功しようがしまいが、まずやってみて、早くフィードバックを得て、早く間違いを修正していく — Fail Fast の精神

みんなAIテクノロジーをゴリゴリ使ってラクしているし、それを自分の開発するサービスに統合して生かそうとエンジョイしている

53歳。日本の大手SIerに勤めた後、独立。コンサル、エバンジェリストを経て、米マイクロソフトにエンジニアとして入社。現在シニアソフトウェアエンジニア。

日米の開発方法論の違いの例

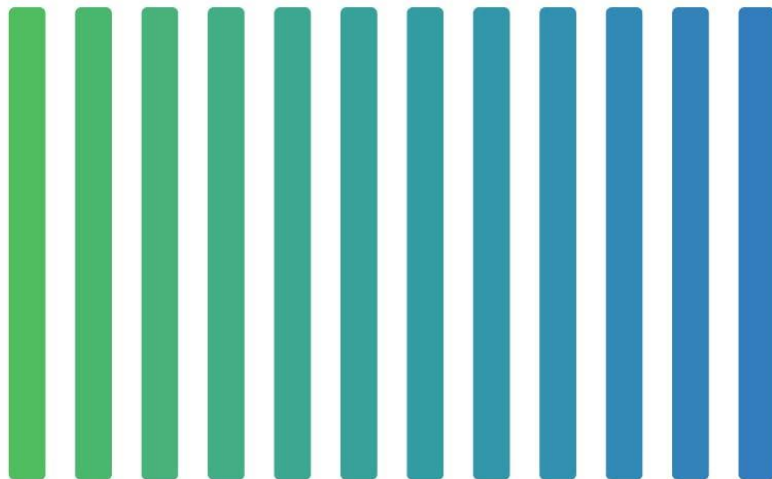
牛尾 剛. 世界一流エンジニアの思考法 (文春e-book) (pp.18-19). 文藝春秋. Kindle 版.

マイクロソフトのクラウドサービスは、ポータルと呼ばれる Web サイトのアイコンをクリックして、名前を付けたりすると、簡単にプログラムの実行環境を手に入れることができる。昔だったらサーバーを手配するだけで半年かかっていたものが、今はサーバーレスでアプリケーション開発をしたり、Web サービスをつくることができるわけだ。ユーザーから見たら、いとも簡単に見える「アイコン」であっても、その中身はものすごく複雑な「マイクロサービス」と呼ばれる小さなシステムの集合体だ。世界中の大企業が利用しているプラットフォームなので、この仕組みが止まってしまうと、各企業のシステムに甚大な影響が出る。だからとても信頼性を求められるシステムになっている。2020年4月にチームに参加して初めて、GitHub（世界中の人々が自分のつくったプログラムコードやデザインデータなどを保存・公開できるソフトウェア開発のプラットフォーム）で公開されている部分は、氷山の一角にすぎず、その中に巨大で複雑な仕組みが構築されていることを知って驚いた。Azure Functions はそんな精巧なシステムにもかかわらず、毎日たくさんのエンジニアがものすごい勢いで、機能を追加したり、更新したり、バグの修正をしたりしている。私が以前勤務していた日本の Sler（システムインテグレーター。システム開発や運用などを請け負う会社）では、今動いているシステムに対して大胆に機能を追加したり変更することは決してしなかったが、ここでは次々と変更していくのだ。ふと同僚が言ってくれたことを思い出す。「プロダクトチームに参加したら、1年は役に立たないと思っておくといいよ」そのくらい中身が複雑で、変化のスピードが速い。そんな中で私は、周りと比べても実装が遅いほうだし、何をやっても不器用で時間がかかってしまう。

わかりやすい イノベーション・ マネジメントシステム

“新しい価値実現”のシステムづくりを
ISO 56002 で理解する

一般社団法人
Japan Innovation Network 著



日本規格協会

ISO56002（ガイダンス）の特徴的な記述

（3章）不確実性及びリスクのマネジメント

- ・ **全ての取組みがイノベーションに至るとは限らない**。中止された取組みは**学習の材料**となる

（4章）組織文化

- ・ **創造的な考え方および行動と、決まった活動を実行する考え方および行動が共存すること**
- ・ **現在の前提条件に疑義を呈することの奨励**
- ・ **外発的な動機付け（例えば金銭的な報酬）のみではなく、内発的な動機付け（例えば自主性の向上および意欲を高める目的）が重視されている。**

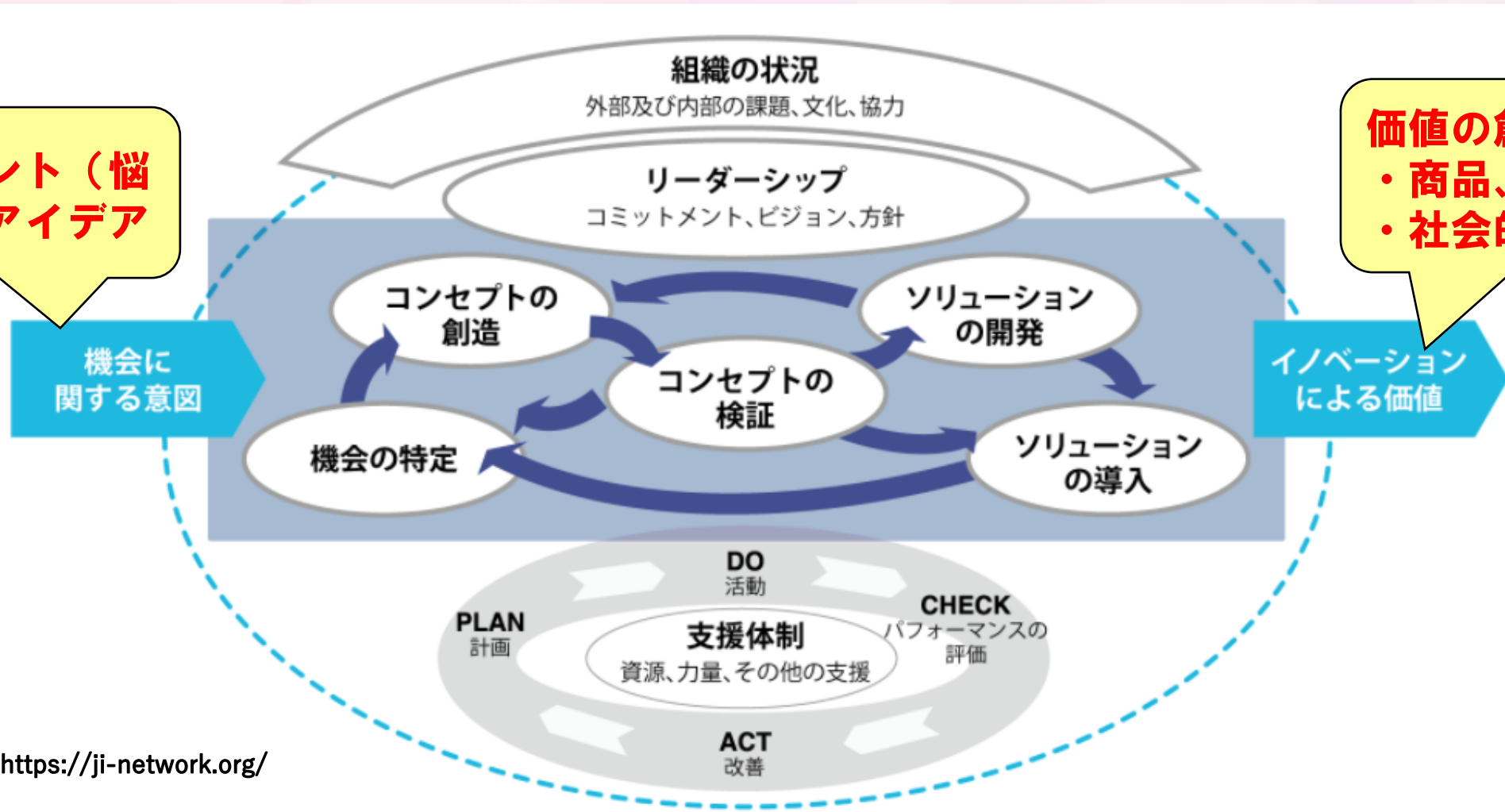
（5章）リーダーシップ及びコミットメント

- ・ **成功及び失敗の両方からの学び、イノベーターを励ます**

ISO56002（ガイダンス）のフレームワーク

- ・ 試行錯誤（ノンリニア）を初めて国際標準にした
- ・ イノベーターを組織的に守り励ます

ペインポイント（悩みの種）やアイデア



価値の創造
・ 商品、サービス
・ 社会的課題解決